

# 遊休地から広場への空間整備がもたらす 精神医療活動への効用に関する考察 -福岡大学病院デイケア棟前遊休地改修を事例として-

白井 沙織<sup>1</sup>・柴田 久<sup>2</sup>・池田 隆太郎<sup>3</sup>・加藤 優希<sup>4</sup>

<sup>1</sup>正会員 修(工) 日本工営株式会社 (〒102-8539 東京都千代田区麹町4-5)  
E-mail: b0866@n-koei.co.jp

<sup>2</sup>正会員 博(工) 福岡大学工学部社会デザイン工学科 (〒814-0180 福岡市城南区七隈8-19-1)  
E-mail: hisashi@fukuoka-u.ac.jp

<sup>3</sup>正会員 修(工) 福岡大学工学部社会デザイン工学科 (〒814-0180 福岡市城南区七隈8-19-1)  
E-mail: rikeda@fukuoka-u.ac.jp

<sup>4</sup>非会員 学(工) 日本振興株式会社 (〒542-0076 大阪市中央区難波5-1-60)  
Email: yuki.kato@nihon-shinko.com

本研究では、福岡大学病院精神科デイケアでの園芸療法に対する患者の消極的な姿勢の改善および同療法に使われる畑周囲の遊休地の有効活用を目的とした広場整備の事例をもとに、精神医療活動に対する広場デザインの効用について考察した。調査として、広場の利用が定着していると考えられる完成3年後における広場の利用実態の把握および周辺住民や広場利用者などへのヒアリングを実施した。その結果、1) 患者の園芸療法だけでなく、様々な人の多様な利用を促す広場デザインにより地域との中間領域が形成されていること、2) 中間領域による患者の関心回復および周囲の精神障害に対する偏見是正の可能性が推察された。

**キーワード:** 広場, 遊休地, 空間整備, 精神医療活動, 中間領域

## 1. はじめに

### (1) 本研究の背景と目的

「ストレス社会」ともいわれる現代、わが国の精神疾患による患者数は増加傾向にあり<sup>1)</sup>、精神障害者に対する偏見やそれによる患者の生きづらさも指摘されている<sup>2)</sup>。一方、福岡大学病院精神科デイケア（以下、デイケア）では、患者（以下、メンバー）の若年化が進み、園芸療法（以下、アグリ活動）に対する消極的姿勢が懸念されていた。またアグリ活動で使用される畑の周囲には雑草地となった遊休地が広がり、上記アグリ活動の活性化と遊休地の有効利用を念頭に、畑を含む広場と病院関係者用の駐車場が整備された。

そこで本研究では、利用が定着していると考えられる整備3年後における広場の利用実態を把握し、さらに周辺住民、メンバーを含む広場の利用者およびデイケア職員に対するヒアリング調査を実施した。これらの結果より、精神医療活動に対する広場整備の効用について考察する。

### (2) 既存研究および本研究の位置付け

宮下ら<sup>3)</sup>の調査では、大半の病院が緑化の重要性を認識していることや、患者だけでなく職員のためにも緑化の必要性があるということが明らかにされている。また一部の病院ではエントランスや外周が地域の人達の散歩の場所として利用されており、患者のみならず職員、地域住民利用の可能性等を含めた広い意義で緑化の重要性が明らかにされていた。

他方、櫻井ら<sup>4)</sup>の研究では、精神障害に対する偏見が弱い人の特徴として「精神障害者との接触があること」と「知識があること」であると示唆されている。また大島ら<sup>5)</sup>の調査では、精神障害に対する偏見への効果的な介入として精神障害者と「共に作業すること」と「普及啓発活動」を挙げている。

しかし、精神医療活動に関わる広場の研究や病院における広場の具体的なデザインやその効用についての既存研究は見られなかった。本研究では、これらの既存研究の知見を基に、デザインし整備された広場がメンバーおよび周辺住民や広場利用者にとどのような影響を与えているかを明らかにすることで、精神医療活動に寄与する

広場づくりについて考察する。

### (3) デイケアおよび遊休地に対する広場デザインの特徴

デイケアは、メンバーの社会生活機能の回復を念頭に治療が行われるだけでなく、「慢性期患者の居場所」「生活リズムの維持」等といった日常的な居場所としての役割も担っている<sup>9)</sup>。またデイケア創設時の1974年から続くアグリ活動では、週1回の活動や日々の手入れに加え、保育園児を招いた芋ほり大会等がデイケア棟前で行われ、メンバーや職員に親しまれてきた。

整備前の上記遊休地は中央部に高さ約15mのカエデがあり、すぐそばにベンチが設置されていたものの、損傷の激しい状態であった(写真-1)。また遊休地内に約1.5mの段差があり、フェンスによって敷地が二分されていた(写真-2)。上記畑は段差下の雑草地に隣接し、敷地内の往来は幅約1mの斜路付階段を通行する以外なく、畑への見通しやアクセスの悪さが指摘されていた(写真-3)。また雑草地全体にわたり水はけが悪く、畑作業や保育園児を招いた芋ほり大会以外、ほとんど人が立ち入らない空間と化していた。2020年6月の整備ではデイケア棟側に約2000m<sup>2</sup>の広場、その隣に約800m<sup>2</sup>の駐車場が新設され、上記段差をなくすことでフェンスを除去し、芝生の張られた緩やかな傾斜とS字を描く曲線的通路が設置された(写真-4)。また通路付近に新設されたベンチの後方には木陰を創出するための高さ約2.5mのシマトネリコが新植されている(写真-5)。さらに以前から広場中央にあったカエデの木から降りた辺りに幅2~6m程の畑が5箇所設けられ、隣接して水道やベンチも配置された(写真-6)。これらにより遊休地内の一体性と開放感が高まり、利用しやすい広場への整備が図られた。



写真-1 遊休地のベンチと既存のカエデ



写真-2 遊休地のフェンスと畑の様子



写真-3 斜路付き階段と畑の様子



写真-4 整備後の広場と畑の様子



写真-5 新植された樹木とS字の通路



写真-6 既存樹下の新設されたベンチと畑

## 2. 整備3年後における広場の利用行動調査およびその結果

### (1) 広場の利用行動調査の概要

2023年10月10日から16日の7日間、8時から18時の広場における利用行動の観察調査を行った(図-1)。広場の通行も含め利用するメンバーおよび職員と、それ以外の広場を利用する人(以下、利用者)の行動および広場内の動線を広場の地図上にトレースした。

### (2) 把握された利用行動の特徴

広場内の動線においては園路を通り抜ける利用が多くみられた。利用行動のプロットから、メンバーはカエデ付近から畑周辺のエリアで多くの行動が見られ(写真-7)、利用者は園路付近からカエデ付近までの利用が多く把握された(写真-8)。カエデ下のベンチはメンバーと利用者の両者から昼食や休憩など利用が共通して確認された。またデイケア前の道路からカエデの木を眺める歩行人も確認されており、アイストップとしての役割も担っていることが把握された。

さらに広場のデイケア側は比較的広い平面部であり、デイケアでの活動(モルック)やイベントの利用だけでなく、利用者によるボール遊びやゴルフの練習などがなされていることが看取された(写真-9)。また広場の通り抜けやデイケア前の道路を通行する人もみられ、中にはメンバーの活動を見ながら広場を通過する様子が確認された。

畑内に入る利用者は少ないものの、一部子どもが作物を触る、虫を探すなどの行動が確認された(写真-10)。また畑部に面している住宅の住民は、畑を眺めたり庭の手入れついでに畑付近の草を刈ったりする様子

が把握された。また子どもが傾斜を駆け上がる行動も多くみられた(写真-11)(写真-12)。そのほか落ち葉で遊ぶ、園路に寝そべる、自転車の練習といった様子もみられ、その広場で遊ぶ子どもに注目するメンバーも確認された。

### 3. 周辺住民へのヒアリング結果

#### (1) 広場周辺住民へのヒアリング調査概要

周辺住民へのヒアリングでは、広場および駐車場の敷地に面する住宅9軒およびアパート2棟、合計48軒を対象として、2023年10月31日と11月1日に訪問調査を行った。不在または対面でのヒアリングが難しい住民に関し

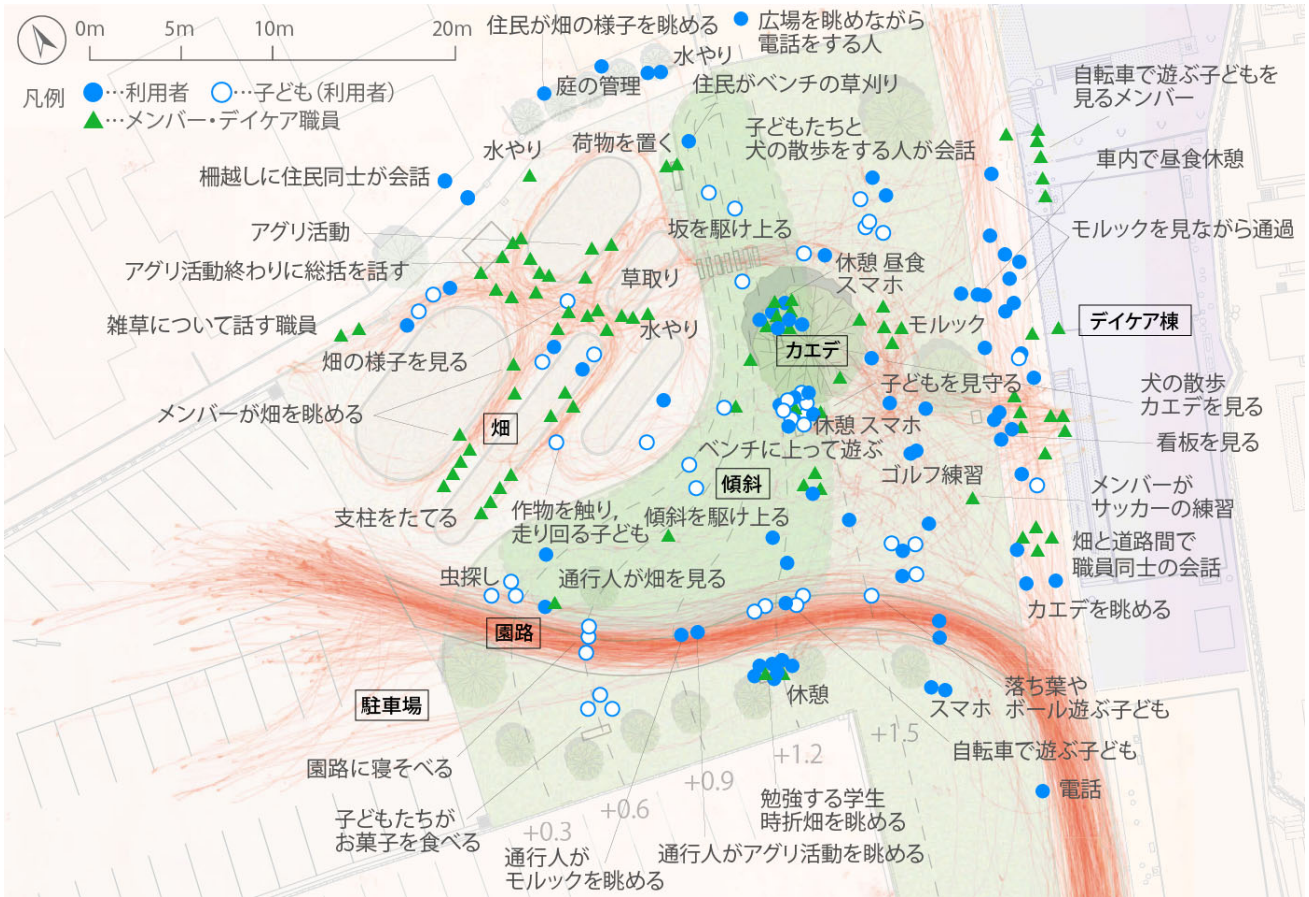


図-1 利用行動調査結果



写真-7 アグリ活動中に休憩する様子



写真-8 園路そばのベンチで勉強する学生



写真-9 平面部でボール遊びする親子



写真-10 畑そばで虫を探す子ども



写真-11 斜面を駆け上がる子ども

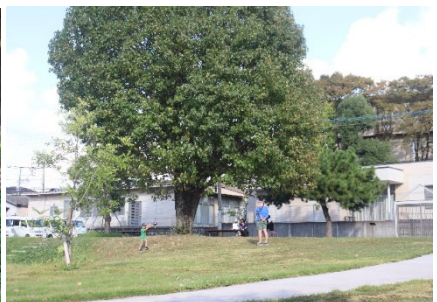


写真-12 緩傾斜部で遊ぶ親子

てはアンケート用紙およびGoogle formsによる同内容の質問を用意した。この調査より、周辺住民13名から回答を得た(表-1)(表-2)。

表-1 周辺住民へのヒアリング調査 単純集計結果

年代					属性(職業など)				合計	
10代	20代	30代	40代	5.60代	70代~	医療関係	福祉関係	医学生		その他
1	4	2	2	0	4	2	0	2	9	13
性別		広場改修前の様子について			広場の利用頻度		煙は誰の管理と思うか			
女性	男性	知っているか	はい	いいえ	改修前	改修後	地域住民			
4	2	知っている	8	5	毎日	0	0	福大職員		
改修前いつ認知	2020	5年前前	10年前前	50年前前	週2.3回	1	3	福大学生		
	0	2	1	4	月2.3回	2	4	デイケア		
広場いつ認知	2023	2022	2021	2020	年に数回	0	2	大学関係者		
	2	2	3	6	変わらない	5	4	わからない		

※数字の単位は全て人

表-2 周辺住民へのヒアリング調査 広場利用に関する回答

広場を知ったきっかけ	
家から見えた(6)/近くを通った(3)/引越してきた(3)/散歩のとき/病院に行くとき/広場の工事をみた(2)/広場と住宅間の舗装工事/広場に関する記事校閲	
広場を利用する(9)	
普段の利用	オレンジの木の世話/草取り/ベンチの上で寝転ぶ/隣の家の子と鬼ごっこ/近所の子と遊ぶ/自転車/パレーボール(3)/キャッチボール/園路でスケートボード/病院への通り道/地下鉄までの通り道(2)/散歩/通り道として(4)/広場中央の大きな木の様子を見る/遊び
広場で見かける利用	ベンチに座る人(4)/お昼ご飯を食べる人/散歩する人(3)/遊ぶ子ども(4)/テントを広げて遊んでいる親子/遊ぶ親子/近所の子どものボール遊び/スケートボード/スクーター/朝ゴルフをしている人/近所の人が散歩と休憩/園児が草を掘っていた/芋ほりイベントの様子/畑作業をしている人(4)/畑の様子を見る人/イベントの様子
広場に在る人とのコミュニケーション	あいさつ(5)/知っている人にはあいさつをする/畑をしている学生(メンバー)とは交流がないが、先生(デイケアスタッフ)とのやりとりがある/広場に人はいるが、交流することはなくただ眺めている/広場に人はいるが、交流することはない(2)
広場を利用しない(4)	
利用しない理由	精神科の方の施設だと思うから/周辺の住民も広場を使っていないと思う/現在の広場部分が福大に買い取られ、自宅の土地も買収される可能性もあった/2階のベランダから広場はよく眺めている/近所の大きな公園に行っている/特に用事がないから(2)/私有地だと思うから(2)/入っていい場所かわからないから(3)/虫がいそうだから
広場で見かける利用	ベンチに座っている人(3)/朝ゴルフの練習をする人/散歩している人(3)/畑の様子を見る人(3)/草取りする人/遊ぶ子ども(2)
近所の広場利用したいか	気分転換/バドミントンなどして遊びたいから/緑や自然は気分を落ち着かせるのに良いから
広場および畑全般について	
評価と理由	大きな木(9)/大きな木の下ベンチ(7)/園路(3)/畑のそばのベンチ/園路の横のベンチ/ならかな斜面(3)/冬になると落ち葉を集め畑の肥料にしている/四季を感じられる(3)/自然を感じられる(2)/日当たり(2)/風通し(4)/居心地がいい(2)/芝生(2)/畑/家のそばにあること/特になし 木の下ベンチはデイケアの方の憩いの場になっている/子どもが遊びやすい/ベンチでお茶やお菓子を食べて座るのようになってきている/草が短くなって使いやすい/園路に孫が名前を付けている/大きな木がランドマークになっている/園路のおかげで近道/利用者が増え、人目がある/安心/周囲は建物か建てておらず、自然が好きなので近くにこのような場所があると疲れが取れる/広場として見通しの良さ/目印になると思う/自然を感じられる/整備されているから/子供が虫とりによくあそんで/家から近い/開けて子供だけで行っても危なくない/利用したことがないので特になし
改善点	草の管理をしてほしい/芝生の管理をもっと少しの方がいいと思う/病院に通う人は足が弱いことも多いので足元のごぼごぼがないようにした方がいいと思う/犬の散歩をする方がおしっこをかけるので草が枯れる/引越してきた時は福大の敷地と思いついていい気分だったので、気軽に利用していいと分れば周辺住民も利用しやすいと思う/夜は暗く通りづらく感じる。安全のために足元を見やすくする明かりが欲しい/カラスがよくいることが気になる/一般の方も利用していいか分からないので立ち入れない/特になし(6)
今後も利用すると思うか	
はい(11):今まで通り利用したい(5)/自然があるから/木の下ベンチが気持ちいいから/利用したい/家のそばに広場があるから/気持ちよさそうだから/子供がよく行くため/関係者以外の人が入っていいことを知らなかったため いいえ(2):見える範囲で見守る/一般の方も利用していいか分からないので立ち入れない	
整備前の印象	広場 荒れていた/人が入っていなかった/人がおらず段差で敷地内が分けられていたが、ひとつの公園のような感じになった/今と同じようにデイケア側の方は平たかった/全体的に草だった/草が長かった/草が生えて誰にも使われていなかった/デイケアの人がパレーボールをしていた/金網があった/フェンスがあった/同じく/中に入りやすかった(2)/福大の土地だと思っていたので、印象に残っていない/利用できる感じではなかった(2)/整備前の様子を見たことはあるが、印象に残っていない(2)/整備前の様子を見たことがない(5)
前後の変化	煙 煙だけあった/煙らしさがあった/人が入ってなかった/今より広かった/入院している人のケアとして行った/畑があったことを知らなかった(2)/特に意識して見ていなかった/印象に残っていない(2)/整備前を知らない(2)/現在広場横アパートの場所も昔は田んぼで、セガタヌキがいてのどかで静かな感じだった
現在の印象	煙 きれいな/公園みたいになった/一時期は人がいなかったが、子供が遊ぶようになったので明るく/園路ができて通りやすくなった/園路ができて気に入っている/明るくなり入りやすい/ベンチができて広場を使っている人を見かけるようになった/ベンチができてきれいになった/大きな木が目印になり、落ち着く場所になったと思う/地域一帯が新しくなった/ベンチがあるデイケアや福大の土地/目障りでない/特別に思っていない/整備前は空き地かと思っていた
煙	煙が自宅の方に来た/時々昼間に声が聞こえるようになった/整備された/遠目で見ている/明るくなった(2)/煙らしくなった/煙に入りやすくなった/作物が見えるようになった/特に変化はなし(3)/以前の畑の様子を知らない(6)
煙	きれい(8)/明るい/家前のある座のような感じ/大きな木が窓からちょうど見えるのがいい/家から見えるカエデの紅葉が楽し/近所の人が使っている場所/開放感がある(5)/気持ちがいい(3)/気軽に使いやすい(3)/落ち着く(2)/身近に感じる(2)/デイケアの憩いの広場だが、園路があるのでデイケアだけのものと思わない/芝生やベンチがありデイケアの人達にとっていいと思うが、もう少し手入れしたほうがいいと思う/芝生や雑草でくぼみなど危険な箇所もあり、ベンチを置かなければ危なくないようにするべき/病院の敷地内っぽさがある(2)/都市高速や地下鉄で周辺の印象が変わった/広場を通り抜けるが、実は家の前の道路も福大の土地だから広場もそうなのかな
煙	健康に良さそう/畑の管理などがあると思うので、畑の中に入りにくい/園児の芋ほりがいい/何か作物ができてくるという感じ/畑周りの雑草が少なくなった/きれい/きちんと整備されている/前からデイケアの人が使っていた/とても楽しそうに畑作業している/広場に馴染んでいる(2)/作業がしやすい(2)/畑の様子が見やすい(2)/畑の中に入りやすい(2)/わざわざ畑の様子を見ていない/広場に入ったことはあるが、畑があることは知らない
畑作業	活発な様子(2)/しっかりと作業している/定期的な活動が行われている(2)/人数が増えにぎやかになった/毎日見ているが、草取りや水やりなどを静かにがんばっている印象/畑作業より草むしりをよく見かける/治療の一環だと思うが、そういうのは感じないくらい楽しそう/畑をきちんとしてあるなと思っている/楽しそう(3)/芋ほりイベントが行われている/見かけるが印象に残っていない/畑作業を見かけたことがない(3)
デイケアに関するイメージ	
いろんな意味でのケアが求められるので必要なもの/神経科で動いていたことあるので、デイケアを特別なものとして見ていない/デイケアの方はみんなでも楽しそうにしている/デイケアの看護師に挨拶をしたことがある/ここにデイケアがあるんだという感じ/皆ここにデイケアがあることを知らない/いやいやのかと思う/毎日デイケアに人がいると思っていない/広場や畑はきちんと管理してある/デイケアがあることは認識していたものの精神科だと知らなかったが、怖いなど思ったことはない/精神科の治療にといいと思う/畑作業以外で見かけない/作業の時だけ人がいる/医学部学生の実習でデイケアを経験したが、明るい印象がある/特に印象はない(2)/精神科デイケアであることを知らない(4)	
広場があることでデイケアのイメージが変わると思うか	
思う(7)	デイケアの方だけでなくもプラス/近所の方も座っていらっしやる/まあ全体がきれいになった/日当たりは変わっていないかもしれないが、前より明るく見える/デイケアの方の活動が見えるから(2)/広場の雰囲気やデイケアにもつながっていると思うから(4)/医学生で精神科の患者と関わることがあり、偏見等が特になら/デイケアの事知らない
思わない(6)	治療の前提があるから自然と触れ合うのはいいと思う/広場はきれいになったがデイケアの印象は変わらない/広場ができただけでデイケアの印象は変わらない/広場とデイケアの関係は知らなかった/患者も頑張っって通っており精神科デイケアだからといって良い意味で印象は変わらない/デイケアを知らないのピンとこない/デイケアの事知らない(2)

※( )内は類似した意見の数

## (2) 周辺住民へのヒアリングにみる広場の評価

整備前の遊休地の印象について聞いたところ、「草が生えて誰にも使われていなかった」「中に入りやすかった」「利用できる感じではなかった」といった意見があげられ、「印象に残っていない」との回答もみられた。整備前後でどのように印象が変化したかについて質問すると「きれい」「公園みたいになった」といった意見があげられた。さらに「子どもが遊ぶようになったので明るくにぎやか」「遠路ができて通りやすくなった」といった広場の利用に関する回答も把握された。くわえて「現在の広場の印象」について聞いたところ、「家の前にある庭のような感じ」「身近に感じる」といった親近感の高さが看取できる意見がみられた。くわえて「近所

の人が使っている場所」「デイケアの憩いの広場になっている気はするが、広場内に通行用の園路があるのでデイケアだけのものとは思っていない」との回答が看取された。一方で「病院の敷地内っぽさがある」との意見も2人からあげられ、「広場を利用していない」と回答した4人のうち3人が「入っていい場所かわからない」と回答、さらに「精神科の方の施設だと思うから」といった意見も把握された。くわえて「改善点」では「立ち入っていい場所かわからない」「引越してきた時は福大の敷地と思い、立ち入っていいかわからなかったの、気軽に利用していいと分かれば周辺住民も利用しやすいと思う」との意見もみられ、広場自体は認知しているものの利用していい場所か把握しづらい現状も看取された。

また「広場があることでデイケアのイメージが変わると思うか」に対して「思う」と回答したのは7人で、そのうち、「広場の雰囲気グがデイケアのイメージにつながっている」とした意見が4人からみられ、さらにその理由として「デイケアの活動が見えるから」との意見も2人より把握された。また「思わない」の6人のうち「デイケアのことを知らない」住民は4人で、あとの2人は「広場ができたばかりであって、デイケアのイメージは特に変わらない」といった回答も2人よりみられた。

## 4. 広場利用者へのヒアリング結果

### (1) 広場利用者へのヒアリング調査概要

2023年10月10日から16日、11月21日、22日に広場内にいた利用者へヒアリング調査を実施した。また芋ほりイベントに来る保育園の園長へも、園での広場利用やデイケアの印象などについて質問した。さらにアグリ活動や休憩等で広場を利用しているメンバーへ、利用頻度等の質問にくわえアグリ活動への参加の有無およびその理由に関してヒアリングした(表-3)(表-4)。

### (2) 利用者へのヒアリングにみる評価

広場の利用頻度について質問したところ、「毎日」との回答が7人、「週2~3回」が6人であり、日常的な利用者の存在が把握され、具体的な利用方法としては「休憩」「通り抜け」が最も多くみられた。広場に対する「整備前後の変化および現在の印象」について聞いたところ、「カエデはシンボル感があり見に行こうと思う」「ベンチと木があって休憩できるのがいい」との評価がみられた。また広場および畑におけるデイケアの活動を見たことがある10人からは「楽しそう」「すごく頑張っているイメージ」といった印象があげられた。さらに「デイケアに関するイメージ」について「特にない」と6人が回答したほか、「気にならない」と特に印象がな

い人も散見された一方、「畑で作業している姿が楽しそう」「畑作業は和やかな印象」との回答が見られ、デイケアに対するイメージが、畑作業の印象と繋がっていることが確認された。くわえて「広場があることでデイケアのイメージが変わるか」に関して、13人から「思う」と回答がみられ、その理由として「活動が見えることで、明るく見えるから」「デイケアの癒しになっているのではないか」との意見が把握された。

### (3) 保育園長へのヒアリングにみる評価

園長からは、この広場での利用について「シロツメクサやよもぎといった草花など、身近な自然に触れあえるいい場所だと思う」「この広場は大きなカエデの木があり落ち葉で遊んだり踏んだ時の感覚を楽しんだりする」「みかんの木もあり、アゲハの幼虫の観察などもできる」といった具体的な利用に関する回答を得た。くわえて「子ども達は自然に触れる機会が少なく、畑や様々な植物、虫がいるこの広場に来る」といった内容から、身近ながら多様な自然とのふれあいが広場でなされていることが把握された。また広場化については「見渡しが良く、段差がなだらかになったので子どもが駆け上っても安全」「駐車場ともしっかり区切られており、安全確認がしやすい広場になった」といった、遊ばせやすさや安全性が評価されていた。さらに整備後の畑については、「前は入ってはいけない感じが強かったが、子どもがすぐ畑に入っていくやすい親しみのある畑になったと思う」との意見があげられた。

くわえてデイケアのイメージ変化に関しては「医療施設の一環だが、広場があることで開放的な雰囲気であることにより地域で一緒に暮らす知り合いのようなイメージを子どもたちも持てるのではないかと思う」といった意見がみられたうえ、「医療施設の一環だが、広場の開放的な雰囲気により病院にいる人でなく、地域に暮らす人のように子どもと自然な交流ができています」「地域の人のような感じで一緒に畑で知り合えると思うし、地域の知り合いのようなイメージを子どもたちも持てるのではないかと思う」といった回答が看取された(写真-13)。さらに広場について「子どもとデイケアで植物を共同で育てられるスペースがあったら、子どもたちと散歩のとき広場に立ち寄りやすくなる」といった、活動を共にすることへの希望も抽出された。

### (4) メンバーへのヒアリングにみる評価

広場を利用するメンバー6人より回答を得た。利用頻度について6人が「週2~3回」と回答しており、利用方法としては「アグリ活動」「休憩」が最も多く把握された。広場の評価点については「ベンチ」「木陰」にくわえ「イベントなどで使いやすく集まりやすい木の下のス

ペース」との意見がみられた。また現在の広場について質問したところ、「身近に感じる」「自然がいっぱい」といった回答や、「子どもが遊んでいる」「子どもが遊べる遊具がある方がいい」との意見があげられた。また「アグリ活動の時メンバーと話す」「イベントで普段話さないメンバーと話した」といった広場内でのメンバー同士の交流も把握された。さらにアグリ活動について、「耕しやすいこと」「畑のそばに水道が設置してくれた

こと」「広場化により福大から草刈りをしてもらえるようになったので、使いやすく参加しやすくなった」との意見が抽出された。

### 5. 整備3年後の広場に対する職員の評価

2023年6月、9月に体育療法士、デイケア医長、作業療法士、看護師の計4人へヒアリングを行った。

広場について体育療法士より「通過する人や遊んでいる子どもが増え、園路がデイケアと地域を繋げていると思う」との回答が把握された。他方、デイケアでは統合失調症<sup>1)</sup>のメンバーが多く、「周りへの関心が乏しく視野を狭くする病気でもある」との回答が得られた。また「外に出ることが社会復帰の第一歩の人もある」「デイケアでは施設内の活動が多いが、外での活動は“地域

表-3 広場利用者へのヒアリング調査 単純集計結果

年代	～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～	未回答	女性	男性	合計
利用者	1	4	2	3	4	4	0	2	13	7	20
メンバー	0	1	2	1	1	1	0	1	2	5	7
属性	周辺住民	メンバー	スタッフ	医療関係	福祉関係	医学生	福大関係	その他	合計	広場内畑は誰の管理と思うか(利用者のみ)	
利用者	5	6	1	1	1	2	9	2	27		
利用頻度	利用者	メンバー	改修前広場・畑の認識	広場利用者	メンバー	畑利用者	メンバー	未回答			
毎日	7	0	はい	7	6	はい	6	6	地域住民	0	
週2.3回	8	6	いいえ	13	1	いいえ	14	1	福大職員	0	
月2.3回	2	1	改修後広場いつ使わない	年	2023	2022	2021	2020	未回答	福大学生	0
年に数回	3	0	利用者	4	1	6	7	2	デイケア	6	
使わない	0	0	メンバー	1	0	0	6	0	大学関係者	1	
精神科デイケアがあることを知っているか(利用者のみ)	はい	15	いいえ	5	わからない	13					

\*数字の単位は全て人

表-4 利用者へのヒアリング調査 広場利用に関する回答

広場を知ったきっかけ	
利:	職場がそばで近くを通ったから(8)/近所に住んでおり近くを通ったから(7)/大きな木が見えたから/同僚に聞いた(2)/広場の工事を見た ㊦: 近くを通った(6)/デイケアから見えた
利用者の広場の利用	
ヒアリング時	利: 休憩(7)/昼食(3)/遊び(2)/会話/散歩(2)/通り抜け(7)/カエデの木を見る/犬の散歩/気分転換 ㊦: 芋ほり大会 ㊧: アグリ活動(5)/休憩/散歩/畑の様子を見る
普段の利用	利: 休憩(6)/昼食(2)/遊び(2)/通り抜け(6)/散歩(3)/畑の様子を見る/カエデの木を見、写真を撮る/広場を眺める/犬の散歩/気分転換/季節の変化を感じる/虫取り ㊦: 季節の変化を感じたり虫取りしたりする/保育園は約5年前に開園した大きな木がないが、この広場は大きなカエデの木があり落ち葉で遊んだり踏んだ時の感覚を楽しんだりする/みかんの木もあり、アゲハの幼虫の観察などでもできる/子ども達は自然に触れる機会が少なく、畑や様々な植物、虫がいるこの広場に来る/カエデの落ち葉を園に持ち帰り、散歩に来れなかった園児と遊ぶ/福大のキャンパス内や葉菜園を歩いたり探索したりするとよいと思うが、少し遠い/退園後もこの広場のような場所に遊びに行けるといいが、保護者のほとんどの方が車通勤なので迎えに来たらすぐに帰宅している ㊦: 休憩(5)/散歩/昼食(2)/通り抜け/電話/デイケアが始まるまでの待ち時間にベンチに座る/ない
広場に誰と来るか	利: ひとり(11)/親子(2)/友達(2)/同僚(2)/犬(2) ㊦: 園児 ㊧: ひとり(6)/メンバー
広場に居る人とのコミュニケーション	利: はい(8): 掃除の方と話す/通行人と会釈や挨拶/通り抜けやベンチに座っている人に挨拶/草取りしている人や遊んでいる子どもに挨拶/朝7時頃ゴルフの練習している人に挨拶/知っているメンバーやスタッフに挨拶 ㊦: はい(11): 広場で人を見かけない(5) ㊧: はい: 通り抜ける人やベンチに座っている人にこんにちはと挨拶することはある/整備前も挨拶の声掛け程度で、特段何か話すことはなかった ㊦: はい(3): アグリ活動中メンバーと話す/イベントで普段話さないメンバーと話した ㊦: いいえ(2)
広場および畑全般について	
評価点	利: ベンチ(6)/カエデの木がない(9)/落葉や紅葉(2)/園路(4)/芝生/木の下(2)広場を紹介する看板があるのがいい/日当たり(2)/静か/たそがれる/丁度いい/大通りに面していないところがいい ㊦: シロツメクサの生えている所 ㊧: ベンチ(4)/木陰(2)/畑/イベントなどで使いやすく集まりやすい木の下スペース/特になし
改善点	利: 芝が雑草に負けている/雨が降ると園路が濡れやすい/虫が多い/子どもが遊べる遊具がほしい/花を植えてほしい(3)/木の名前の看板が欲しい/畑は誰のだろうと思う/この広場は勝手に入っていい場所なのかわからない/駐車場の台数のわりにこの広場には人が少ない印象/坂の先に畑があり、子どもが遊びにくそうだと思う/畑と公園を分けたら、畑を囲んだりした方が使いやすいんじゃないかと思う/広場南側は使われておらずもったいない/畑が邪魔な感じ/特になし(10) ㊦: 子どもとデイケアで植物を共同で育てられるスペースがあったら、子どもたちと散歩のとき広場に立ち寄りやすくなる ㊧: 草取りが大変で毎週している/除草/日差しや雨が降りやすい/木の下はいいが夏は日差しがキラキラしており暑い、屋根付きのところがあるといい/食事できるテーブルなどもあるとよいと思う/子どもが遊べる遊具がある方がいい/特になし(3)
広場および畑に関する整備前の印象	
利:	広場で遊んだり木の下ベンチにすわったりしていたが、殺風景だった/道やベンチがなく、草木が整ってなかった/草がぼうぼうで、除草が大変そう/広いのもったいないなという感じ、毎日見ていた印象は特になし、通ってはいない/日当たりが良かった/使われておらずもったいない/個人の土気を吸ってまた戻らるうかなと思える/オープンな広い広場になったことで誰でも入っていい印象に残ってない ㊦: 畑が主な場所だったので、個人の畑に無断で入るといったことはほかれるような感じだった ㊧: 暗かった/利用するという感じではなかった/雨の日は畑の水溜りがひどかった/畑の水はけが良くなかった/THE畑という感じ/畑のそばに水道がなく水をまくのが大変だった/柵があった
整備前後の変化および現在の印象	
利:	いい(7)/きれいな(3)/気持ちがいい/人が遊んでいるのを見かけやすい/静か/外の空気を吸ってまた戻らるうかなと思える/オープンな広い広場になったことで誰でも入っていい印象になった/カエデはシンボル感がある/見に行こうと思う/ベンチでのんびりしている人がいる印象/広く、隠さないうつりが良い/涼しく風通しが良い/通り抜けができて便利になった/ベンチと木があった/休憩できるのがいい/園路が通しやすい/木が素晴らしい/暑くない/隠れていい/開放的で、人目もあり安心/座っている人がたまにいて遊んでいる小さい子がいる/結構お年寄りの方も使っていると思う/モルックしているところも見かける/この広場はデイケア専用のものであるという感じがする ㊦: シロツメクサやよもぎといった草花など、身近な自然に触れあえるいい場所だと思/誰でも入って楽しめる/いいスペースなのかなと思える/オープンな広い広場になったことで誰でも訪れやすいような雰囲気になった/見渡しが良く、段差がなだらかなったので子どもが駆け上っても安全/駐車場もしっかり区切られており、安全確認がしやすい広場になった ㊦: 使いやすい/きれいな(2)/気持ちがいい/明るい/広くなった/自然がいっぱい/柵がない/身近に感じる/前よりいい/子どもが遊んでいる
畑	利: いい(4)/きれいな(3)/穏やかな感じ/暖かっている/誰のだろうと思う(3)/作物が増えて活発になった/作業している人を見る(5)/楽しそう/すごく頑張っているイメージ/男女年齢様々な方が活動している、その時は目を向ける/土壌が良くなった/開けていて作業がしやすい/子どもが芋ほりをしている/雑草が生い茂っていた/目立たない/なにかやっているなって感じ/住民のものかと思った(2)/畑がなかったらもっと利用しやすい/畑で景観が乱れている感じがするのでないほうがいい/詳しくは知らない(3)/何でここにあるんだろうと思う/特になし(6) ㊦: 前は入ってはいけない感じが強かったが、子どもがすぐ畑に入っていきやすい親しみのある畑になったと思う ㊧: 使いやすい/きれいな(3)/畑の配置が良い/野菜が育ちやすい/水回りの利便性が良かった/前よりいい/雑草地だったので畑しなくなった
アグリ活動の参加およびそのモチベーション(メンバーのみ回答)	
はい(6):	広場化し福大から草刈りしてもらえるようになり、使いやすく参加しやすくなった/きれいになった(2)/きれいになりやる気も出た/畑のそばに水道を設置してくれたこと/収穫が楽しい/耕しやすいこと/広い/開けている ㊦: 虫が嫌いだから/以前よりは虫が少なくなっている
デイケアに関するイメージ(利用者のみ回答)	
利:	普通の人だと思/いろんな人がいるなという感じ/畑で作業している姿が楽しそう/畑作業は和やかな印象/畑の活動をしている方は心のケアをしているのかな?と思ったことはあるが、特にイメージはない/フットサルなどしていると聞いた/大変そう/すごい/休みにしか来ないから人の姿を見ない、医療関係の仕事をしているから特に気にしない/デイケアと関わりがなく、コミュニケーションも特にとらないう印象も特になし/あまり見えていなかった/わからない(3)/特に気にしない(6) ㊦: 特段まだ精神障害などの知識はない/園庭だけだと足りない/福大病院内のグラウンドを借りるなどを通して、自然に触れ合いが子どもたちにも出てくると思う
広場があることでデイケアのイメージが変わると思うか(利用者のみ回答)	
利:	あった方がいいと思う(4)/デイケアの活動が広場で見えることで、明るく見えるから/デイケアの人が遊んでいるから/デイケアの畑が広場の部分と続いているから、デイケアの人にとってもいいと思う/住んでいる人も身近に緑がある/お互いにとってよきよき/みんなでも使えるスペースがあるといいと思う/たまにゲームなどをしてるので、広場があるとデイケアの人とつながりやすいと思う/デイケアの敷地になってるのはいい(2)/デイケアの人にとっても気分がよくなる/あった方がいい/畑が扱いやすそう/もし広場がある場所にマシソンなどが建つと影でデイケアが暗くなるから ㊦: 医療施設の一環だが、広場の開放的な雰囲気により病院にいる人でなく、地域に暮らす人のように子どもと自然な交流ができていく/地域の人のような感じで一緒に畑で知り合えると思うし、地域の知り合いのようなイメージを子どもたちも持っているのではないと思う/一緒に地域で過ごす、自分たちも気軽に話せる
思わない(6)	利: 医学部学生であり、精神科の方と関わることを通し偏見がないから/なんとも思っていないから(3)/変わらない(2)

\*㊦: 利用者の意見 ㊧: 芋ほりに参加する保育園長意見 ㊦: メンバーおよびデイケアスタッフ意見 ※( )内は類似した意見の数



写真-13 メンバーと保育園児の芋ほりの様子

や外に出る”という意味がある」との意見も確認された。

さらに「広場は休める木陰やベンチがあり、イベントがしやすい」との評価もみられ(写真-14)、くわえて「広場でモルックなどをすると、いろんな人がここを通る時にこちらを見ている」「福大病院の敷地内にあるグラウンドでの活動時には福大関係者以外の人通りはそこまでないが、広場は地域の人たちが通り、よく見える位置にあるので我々のやっていることを知ってもらう機会にもなる」との回答も得られた。さらに「広場でのメンバーの楽しそうな様子を見ると、精神障害という“わからない”ことに対する社会の恐怖心が減るのではないか」との意見も把握された。そのうえで「子ども達はメンバーとの芋ほりの体験をもとに、精神障害に対して偏見で判断せず正しい捉え方になると思う」といった子ども達への影響に関する見解もみられた。

## 6. 精神医療活動に対する広場デザインの効用

### (1) デイケアと周辺地域をつなぐ中間領域の形成

整備3年後のメンバーへのヒアリングから、木陰のあるベンチや広場内の自然に対する評価がみられたうえ、メンバー同士のコミュニケーションの場として広場および畑が機能していることが確認された。さらに職員へのヒアリングより、社会復帰に向け外に出ることが第一歩のメンバーの存在や屋内から出ていく場の一つとして広場があげられていた。他方、利用行動調査ではメンバーおよび利用者が木陰やベンチで休憩する様子や広場内の自然や緩傾斜を活用した子どもの遊びがみられた。利用者からもデイケア前広場における虫や植物等の自然に加え、安全に子どもを遊ばせられる場として評価され、カエデが広場のシンボルとして捉えられていることも看取された。さらに職員と周辺住民から「園路がデイケアと地域をつなげている」旨の回答があり、通り抜けられる園路の配置が広場内への動線を促し、広場自体の評価や近づきやすさに貢献していた。以上より、アグリ活動だ



写真-14 カエデの木陰で行われるイベント

けでなく、利用者の自然を感じながらの休憩や子ども達の遊び、職員や周辺住民の通過等、メンバーとメンバー以外の人々の行為を多目的かつ有機的に促す広場デザインによって、デイケア前のエリアが地域との中間領域として共有されているものと解されよう。

### (2) 中間領域がもつ関心回復と偏見是正への可能性

職員へのヒアリングから、周囲への関心が乏しくなるメンバーの多さがあげられた一方で、利用行動調査ではメンバーが広場で遊ぶ子どもに注目する様子も看取され、ヒアリングでも子どもへの高い関心が把握された。さらに職員から、広場での楽しそうなメンバーの様子が、周囲から見えることによる精神障害に対する恐怖心や偏見を軽減する期待も抽出され、利用者も広場での活動をデイケアの好意的な印象として捉えていた。また保育園長から広場の開放的な雰囲気により子どもがメンバーを患者ではなく、地域の人として自然に交流しているとし、職員からもこのような関わりが子どもの精神障害者に対する認識をより正しいものとする期待があげられていた。これらのことから、前述した広場整備による中間領域の形成は、園芸療法の場としてだけでなく、メンバー自身の他者への関心回復や外に目を向けるきっかけを生みだし、さらに周辺地域の精神障害者に対する偏見を是正する可能性が示唆される。

**謝辞：**本研究を進めるにあたり利用行動調査およびヒアリング調査の実施にもご協力を頂いたデイケアの横山作業療法士、吉村医師をはじめとする職員の皆様、メンバーの皆様に対し、ここに記して深く謝意を申し上げます。

#### 【参考文献】

- 1) 厚生労働省：最近の精神保健医療福祉施策の動向について、p3, 2018.
- 2) 吉村公一、山本智津子、眞野祥子：地域で生活し就労継続支援B型に通所している精神障害者の生活のしづらさ、東京医療保健大学紀要、第14巻1号、pp.101-108, 2020.
- 3) 宮下佳廣、岩崎寛：病院における緑環境の現状に関する研究-病

院の特性から見た緑化の考察「日本緑化工学会誌」35 巻 1 号,  
pp87-92, 2009.

- 4) 櫻井友実, 橋本健志, 四本かやの: 日本における精神障害者に対する偏見の文献検討, 作業療法, 第 39 巻, pp273-281, 2020.
- 5) 大島巖, 山崎喜比古, 中村佐織, 小沢温: 日常的な接触体験を有する一般住民の精神障害者観—開放的な処遇をする—精神病院の周辺住民調査から—, 社会精神医学, 第12巻3号, pp287-297, 1989.
- 6) 厚生労働省: 精神科デイ・ケア等について, 第 18 回今後の精神保健医療福祉のあり方に関する検討会, 2009.